

FUJISOFT Report 2024

第55期中間報告

2024年1月1日 ▶ 2024年6月30日



代表取締役 社長執行役員

坂下 智保

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当中間連結会計期間の世界経済は、中東情勢の緊迫化、欧米における高い金利水準の継続、中国経済の先行き懸念など、世界経済全体の不透明さによる景気の不振リスクが懸念されています。日本経済においては、急激な為替の変動などの影響はあるものの、インバウンド需要の増加や、雇用・実質賃金の改善が進むなど、各種政策の効果により景気は緩やかに回復基調が進むことが期待されます。

情報サービス産業におきましては、企業の生産性向上、事業拡大や競争力強化を目的としたシステム投資の意欲は引き続き高い状況にあり、DX（デジタルトランスフォーメーション）化の潮流に対応するための戦略的なシステム投資や、AI等の先進技術の活用による業務の高度化・効率化の需要は拡大基調が続いております。一方、先行きが不透明な世界的な景況感の中で一部顧客企業においては、投資判断には慎重さも見られています。

このような状況の下、当社グループは、将来ビジョンである、「IT×OT分野のシステム／ソフト＆サービスを提供するリーディングカンパニー」を目指す中で、2024年2月に発表した5カ年の中期経営計画（2024-2028）にて新たな経営方針を策定いたしました。

「市場成長を上回る成長継続と収益力強化の両輪での推進」、「収益力の向上による様々な指標改善とさらなる成長のための積極投資」、「グループシナジーをより生み出す体制の構築」、「株主還元強化」、これら重要な経営テーマを推進し、さらなる企業価値向上を推進しております。

このような活動により、当中間連結会計期間の業績につきましては、以下の連結業績の通りとなりましたことをご報告いたします。

中間配当金については、期初の予想通り1株当たり42円とさせていただきます。

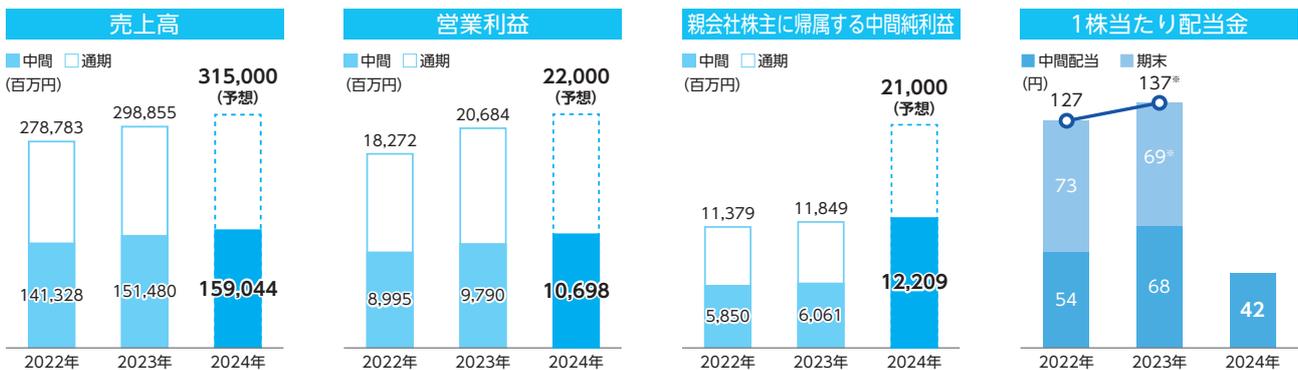
また、当社は2024年8月8日に「FK 株式会社による当社株券等に対する公開買付けの開始予定に関する賛同の意見表明及び応募推奨のお知らせ」を公表しております。今後の情報については当社コーポレートサイトのニュースリリースページに順次掲載してまいります。

株主の皆様には今後とも一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

[ニュースリリースはこちら](#)



連結業績ハイライト・中間配当

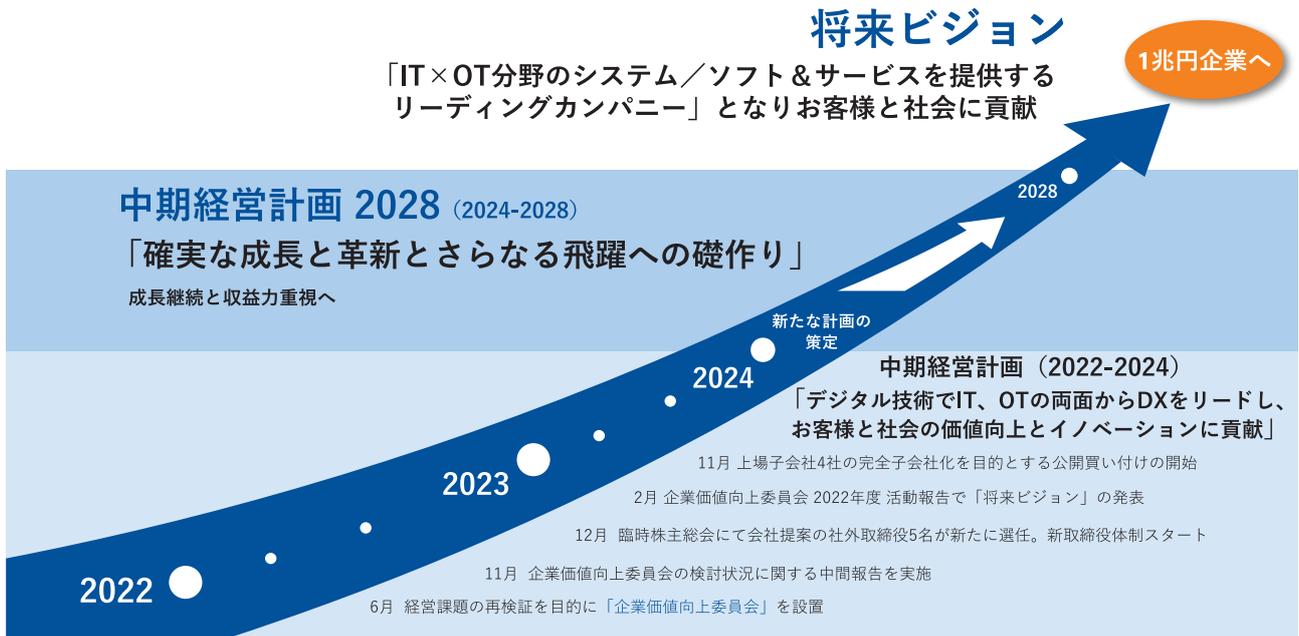


※：配当予想の修正につきましては、2024年8月8日に公表しました「2024年12月期配当予想の修正（無配）及び株主優待制度の廃止に関するお知らせ」をご参照ください。2023年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。2023年12月期第2四半期末の1株当たり中間配当金につきましては、当該株式分割前の実際の配当金を記載し、株式分割前換算した場合の2023年12月期の1株当たり期末配当金は69円となり、1株当たり年間配当金は137円となります。

[具体的な数値等はこちら](#)



「中期経営計画 2028」の位置づけ



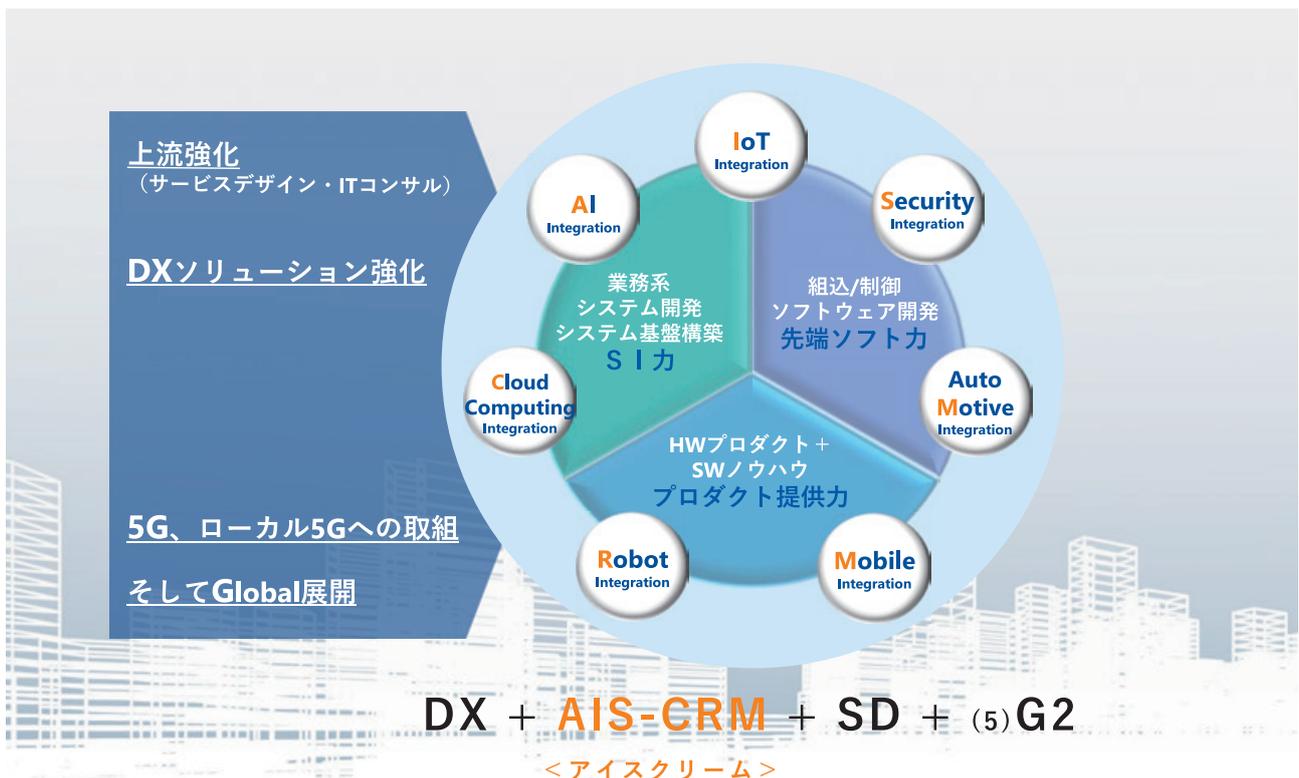
[中期経営計画の詳細はこちら](#)



技術戦略

お客様へのDX支援と自社での業務改革とDX対応

自社のデジタル利用、システム構築へのAI適用等、自身のDXを進めるとともに、技術戦略「DX+AIS-CRM+SD+(5)G2」もさらに強化し、自社とお客様の競争力に貢献し、ビジネス拡大・強化を目指す



サステナビリティへの取り組み&注目トピックス

「統合報告書2024」公開

統合報告書は、企業価値創造の仕組みや、ESGの取り組みについて、広くステークホルダーの皆様にお伝えし、ご理解いただくことを目的に発行しております。

2024年度版は、中期経営計画2028の内容と多様な人財の活躍をテーマにした座談会、人的資本に関わる内容を特集として掲載しております。

これからも弛まぬ「挑戦と創造」で未来を切り拓く富士ソフトにご期待ください。



統合報告書2024
富士ソフト株式会社



[統合報告書はこちら](#)



健康経営の推進

当社は、「企業は人なり」を基本理念として、社員及びその家族が心身ともに健康で、安心安全に働ける環境づくりに取り組む健康経営を推進しております。

●「健康経営優良法人2024 (大規模法人部門) ホワイト500」に3年連続認定

2014年に健康管理センターを設置、グループ各社の健康管理業務を集約してサービスレベルを統一し、健康管理、予防推進に取り組んでおります。要精密検査へのアプローチなど事後管理の強化や育児・介護等と仕事の両立支援、パルスサーベイ導入によるメンタルヘルスケア強化など健康経営を推進してきたことが評価され、3年連続となるホワイト500に認定されました。



●なでしこ銘柄「Nextなでしこ 共働き・子育て支援企業」に認定

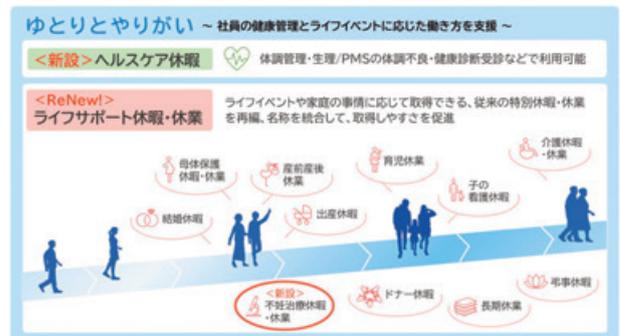
「ゆとりとやりがい」を基本方針として、2019年には女性活躍推進法に基づく「えるばし認定」制度で“3段階目”の認定を受け、同年「プラチナくるみん認定」も取得、2021年には「Lキャリア推進室」を発足し、女性の活躍促進や、誰もが生き生きとキャリアを形成できる働き方を目指して、全社横断の活動として取り組んだことが評価され、令和5年度「Nextなでしこ 共働き・子育て支援企業」に認定されました。



●社員の健康管理とライフイベントに応じた働き方を支援するための制度

<ヘルスケア休暇の新設>

「ヘルスケア休暇」は、社員の適切な健康管理を目的とした休暇で、体調不良時の療養や早期の体調回復、定期的な通院、健康診断や人間ドック・再検査の受診など、年12日(うち有給2日)まで利用可能です。さらに、従来の生理休暇という名称を「ヘルスケア休暇」に統合することで生理休暇の取りづらさを解消すると同時に、性別を問わず全社員が利用しやすい制度として新設いたしました。また、これらの休暇は30分単位の取得でフレキシブルな利用を可能とし、社員のさらなる健康管理意識の醸成・生産性向上を図ります。



<従来の休暇・休業をライフサポート休暇・休業へ統合>

育児、介護などの従来の休暇・休業制度に不妊治療休暇・休業を追加して再編、社員の生活やライフイベント、家庭の事情に応じて取得できる休暇・休業を「ライフサポート休暇・休業」と総称します。総称とすることで社員のプライバシーに配慮するとともに、取得しやすさ・ワークライフバランスの充実を実現いたします。

<不妊治療休暇・休業の新設>

女性の負担が大きいとされる不妊治療と仕事の両立支援として新設いたします。不妊治療休暇は年12日まで(30分単位で取得可能)、不妊治療休業は最長1年間の取得を可能とし、次世代育成に取り組む社員を支援、安心して働き続けられる環境を整備いたします。

「全日本ロボット相撲大会2024」開催

昨年に引き続き「全日本ロボット相撲大会2024」を開催いたします。

「全日本ロボット相撲大会」は、ロボット作りを通して「ものづくり」の楽しさを知ってもらう場を提供することを目的に、1989年より開催しているロボット競技大会です。ロボット相撲は、参加者が自作したロボットを力士に見立て、技術とアイデアで相手を土俵から押し出すことで勝負が決まります。

2023年の決勝大会は4年ぶりの世界大会として開催し、国内予選会を勝ち抜いたチームと海外17カ国の代表チームが集結し、熱戦が繰り広げられました。

2024年12月の決勝大会には、国内3カ所で開催する地区予選会の上位入賞チーム、公益社団法人全国工業高等学校長協会主催「高校生ロボット相撲大会」の地区大会上位3チーム、イオンモール株式会社主催「高等学校ロボット相撲選手権」の地区大会上位2チーム、さらに海外の公認大会の上位チームが出場予定です。熱戦を勝ち上がってきたロボット力士達が相撲の聖地 両国国技館に集結し、横綱を目指して戦いに挑みます。

また、安全性が高く、誰でも容易に取り組みやすい500gクラスのロボットを対象とする「ロボット相撲500g級プレ大会」を、地区予選会、決勝大会ともに同時開催する予定であります。



AWS環境向けセキュリティサービス「FujiFastener」を販売開始

当社は、2024年2月にサイバーセキュリティクラウド社と「CloudFastener (クラウドファスナー)」における包括的業務提携に関する合意書を締結いたしました。この度、サイバーセキュリティクラウド社製品に、当社独自の技術力と実績、システム開発力を融合させることで新たな付加価値を生み出し、当社サービス「FujiFastener (フジファスナー)」として6月19日より販売を開始いたしました。

FujiFastenerは、各種セキュリティサービスに対するログやアラートを集約、セキュリティエンジニアとAIにより、お客様環境にあわせたトリアージを実施し、脅威レベルに応じたアラートを実行いたします。お客様のクラウド環境の万全なセキュリティを実現し、低コストで業務負荷を大幅に削減できます。今後はさらなる機能追加やAWS環境に加えて、マルチクラウド対応も進めてまいります。

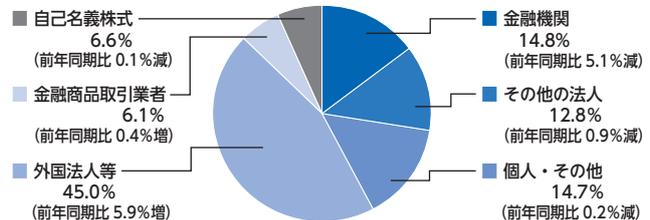
当社は、先進技術を活用した次世代のクラウドセキュリティに取り組み、より多くのお客様が安心安全にクラウドを活用いただけるよう、高度なセキュリティサービスを提供してまいります。



株式の状況 (2024年6月30日現在)

- 発行可能株式総数 260,200,000株
- 発行済株式の総数 62,971,075株
(自己株式を除く)
- 株主数 5,465名
(前年同期比139名増)
- 一単元当たりの株式数 100株

●所有者別株式分布状況



当社の事業活動やサステナビリティ活動などについては、以下コーポレートサイトよりご覧いただけます。



スマートフォンからは
こちら



パソコンからは
こちら

富士ソフト
www.fsi.co.jp

富士ソフト 株式会社

www.fsi.co.jp



UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

本社 〒231-8008 神奈川県横浜市中区桜木町一丁目1番地

証券コード：9749

本誌に記載されている会社名及びサービス、商品名は、各社の登録商標または商標です。